

奄美図書館だより

〒894-0016 奄美市名瀬古田町 1-1 Tel 0997-52-0244
HP address: <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>
E-mail address: ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp

毎月23日は、
子どもといっしょに
読書の日

平成 29 年 3 月 1 日 発行
第 3 0 9 号 (3 月号)
鹿児島県立奄美図書館



お知らせ

郷土コーナー講演会

月日：平成 29 年 3 月 12 日 (日)
時間：午後 2 時～3 時 30 分
場所：奄美図書館 4 階研修室 (入場無料)
内容：演題「琉球列島における宗教より考察した琉球文化の拡がり」
講師 財部 めぐみ 氏

奄美の歴史や伝統、文化などを再発見できるよい機会です。皆さんでいらっしゃいませんか。

※ お問い合わせは、県立奄美図書館 52-0244 までお願いいたします。



第13回ネリヤカナヤ創作童話コンクール 受賞作品集 完成!

第 13 回 (2016 年度) ネリヤカナヤ創作童話コンクール受賞作品集が出来上がりました。

作品集は、大島地区の小・中学校、高等学校、県内の市町村立図書館、公民館図書室等へ配布いたします。また、奄美図書館でも、1 階児童閲覧室・2 階郷土コーナーにて閲覧・貸出をいたします。奄美の豊かな風土・自然に抱かれて育った子どもたちのすばらしい感性を感じていただきたいと思います。



方言の日おはなし会 開催しました!

2 月 19 日 (日) は、「方言の日おはなし会 ～ふるさとの昔話・わらべうたであそぼう～」を実施しました。

当日は、龍郷町立戸口小学校 2 年生による民話劇「ケンムンとがぶぞうとマガン」の上演や、奄美民話の会代表の嘉原カヲリさんを講師に、シマロによるわらべうたや集団あそびなどを行い、子どもから大人まで笑顔あふれるおはなし会となりました。

今後も奄美特有の文化・伝統であるシマロが未来へと受け継がれていくよう、奄美図書館も伝承活動のお手伝いをしていきたいと考えています。



【民話劇上演の様子】



【集団あそびの様子】



3月の行事カレンダー

月	日	曜	行事・催し
3	1	水	おはなしの森 15:30~16:00
	4	土	おはなしさんぽおはなし会 10:30~11:00
	6	月	休館日
	8	水	おはなしの森 15:30~16:00
	12	日	郷土コーナー講演会 14:00~15:30
	13	月	休館日
	15	水	おはなしの森 15:30~16:00
	18	土	あまみ子どもライブラリーおはなし会 10:00~11:00
	21	火	休館日
	22	水	おはなしの森 15:30~16:00
	24	金	休館日(整理研修日)
	27	月	休館日
	29	水	おはなしの森 15:30~16:00
4	1	土	おはなしさんぽおはなし会 10:30~11:00
	5	水	おはなしの森 15:30~16:00
	12	水	おはなしの森 15:30~16:00
	16	日	一日図書館長 9:40~11:50 こどもの読書週間企画展(~5/7)
	19	水	おはなしの森 15:30~16:00
	23	日	本もともだちおはなし会(10:30~, 14:30~)
	26	水	おはなしの森 15:30~16:00

今月の展示コーナー

1階閲覧室は、「春がやってきた〜♪」と題して入学、進級、春の動植物、新生活に関する本を展示しています。



【1階展示の様子】

2階閲覧室は、「3月です 新生活準備を！」と題して新生活、引っ越し、目標に関する本を展示しています。



【2階展示の様子】

4月の休館日予告

3日(月)・10日(月)・17日(月)・
21日(金)・24日(月)

新着図書案内

児童書

- すがたをかえるたべものしゃしんえほん 11**
宮崎 祥子/構成・文 岩崎書店
- 航空会社図鑑**
日本航空/監修 日経 BP コンサルティング
- ぼくらは壁を飛びこえて**
シンシア・レヴィンソン/著 文溪堂
- 地野菜/伝統野菜**
堀 知佐子/監修 丸善出版
- 少女探偵アガサ 1**
サー・ステイヴ・ステイヴンソン/作 岩崎書店

おすすめ本

- だるまちゃんと楽しむ日本の子どものあそび読本**
加古 里子/著 福音館書店

みんなはいつも何をして遊んでいますか？この本で紹介されている遊びは、ゲームやスマートフォンとはひと味違います。身近なもので、今すぐできる遊びがたくさん！さあ、お家の人や、お友達と、楽しみましょう！

一般書

- 先生が本(おはなし) なんだね**
伊藤 明美/著 小澤昔ばなし研究所
- 「合理的配慮」とは何か？**
清水 貞夫/著 クリエイツかもがわ
- 再発! それでもわたしは山に登る**
田部井 淳子/著 文藝春秋
- 九十歳。何がめでたい**
佐藤 愛子/著 小学館
- 妻への祈り**
島尾 敏雄/著 中央公論新社

おすすめ本

- 一〇〇万回言っても、言い足りないけど**
竹田 裕子/著 新潮社

2016年1月10日に亡くなった、ジャーナリスト竹田圭吾さん。鋭いコメントがとても印象的でした。真面目で、家族思いだった竹田さんとの最期の日々を、奥様が綴る本作。思いを通わせ、支え合って過ごした日々を、胸がいっぱいになります。

読書の風を
奄美から